

ひとり一人が自分らしく働ける職場を目指して 株式会社板宮建設の取り組みを紹介

株式会社板宮建設（板宮一善代表取締役社長）では、5年前から女性社員を積極的に採用し始め、6年前は1人だった女性社員が、現在では7人となっています。

採用にあたっては、「建設業は男性」というイメージに捉われず、現場を支援することも重要な役割であるという認識のもと、現場で働くオペレーターや事務職として活躍してくれる社員を募集しました。

また、社員一人ひとりが自分らしく働けるよう、妻の出産時に男性が特別休暇を取得できる環境にしています。

■なでしこ隊の結成

平成27年には、現場を支援する「なでしこ隊」を結成しました。なでしこ隊は、事務職の女性社員5人で構成され、地域貢献活動（ごみ拾い）、工事現場のなでしこパトロールなどを行っています。

なでしこパトロールでは、女性ならではの視点と素人に近い人から見た視点で、トイレの張り紙や掲示板など、気付いた意見を出し合い、現場が快適で安全に作業できるよう改善提案を行っています。

男性中心だった職場に女性が増えてきたことで、これまでとは違う視点で安全・衛生に対する意見が

出されたり、コミュニケーションが増えて職場が明るくなったと話す板宮 純子取締役総務部長。「今後も社員皆が働く楽しさを感じる職場作りに努めたい」と話していました。

☆社員さんにインタビュー

なでしこ隊の皆さん



関美都さん 馬場美智子さん 千田幸恵さん 阿部順子さん

阿部さん 女性社員が以前より増えていることは心強いです。社内の雰囲気が明るくなっていると思います。

千田さん 私が入社した時には、女性社員が周りにいたので、相談などができて心強かったです。

関さん 有給休暇は、周りの社員も取っているためとても取得しやすい環境です。現場で働く女性社員もいるので、雑談の延長で聞く話もあり、現場のこともよく分かるようになりました。

馬場さん 仕事はこなせばこなすほど新しくやることが出てきます。自分のやりたいが増えていくことは楽しいです。

男女共同参画パネル展 「ジェンダーギャップを考える」

- 日時 6月15日(水)～23日(水)
- 場所 イオンスーパーセンター金ヶ崎店
- 内容 LGBT(※1)パネル・DV(※2)防止啓発パネルの展示



※1 女性同性愛者、男性同性愛者、両性愛者、トランスジェンダーの頭文字を組み合わせた表現
※2 ドメスティック・バイオレンス…配偶者や恋人など親密な関係にある者からの身体・精神・経済的、または言語の暴力および虐待のこと

いわて男女共同参画サポーター講座 受講生を募集

岩手県男女共同参画センターでは、2021年度「いわて男女共同参画サポーター養成講座」を実施しています。

- 期間 9月1日(水)～11月15日(月)
- 内容 男女共同参画、DV防止、復興・防災、まちづくり等の講座
- 申込期限 7月30日(金)まで
- 申込先 中央生涯教育センター (☎44-3123)

男女共同参画担当の気づき



中央生涯教育センター
社会教育係 高橋卓也主事

「男は仕事、女は家事」と聞くと、古い考え方だなあと、20代の私は思うのですが、男女共同参画的な視点を持ってみると、自分も潜在的に同じような考え方があるのかもと思うことがあります。

例えば、家の家事を「手伝う」ことがあるのですが、この手伝うという意識。男女共同参画を知る前であれば違和感がないものですが、手伝うという考え自体に「女は家事」という価値観があるのでは？と、最近になって気がきました。

無意識に価値観の押し付けをしてしまわないように、私自身もアップデートします。



6月23日(水)～29日(火)は男女共同参画週間

平成11年6月23日に「男女共同参画社会基本法」公布・施行されたことから、国では毎年6月23日～29日までの1週間を「男女共同参画週間」と定めています。町でもこの期間に合わせて、啓発事業を実施します。

私だから、の時代

■男女共同参画の考え方
皆さんは、男は外で働き、女は家庭を守るべき、という考え方をどう思いますか？

その通りだ、その通りではない、場合によるなど、たくさんの答えがあると思います。こういった考えを性別による固定的な役割分担意識と言いますが、実際はどうでしょうか。

仕事が好きで女性もいれば、家事や育児が得意な男性もいるはず。しかし、性別によって役割を決めつけられてしまうと、その人の持つ、せっかくの長所や能力も十分に発揮できないだけでなく、人生の選択の幅を狭めてしまうことになってしまっているのではないのでしょうか。

性別を理由に、自分のやりたいことや能力が十分に発揮できる分野をあきらめなければならないのは、

んだか生きづらくありませんか？

この分担意識を無くして、誰もが自分らしく生きられるよう、お互いを尊重し、個性と能力を発揮するというのが男女共同参画の考え方です。

■女だから、男だから、ではなく、私だから、の時代へ

本年度の男女共同参画週間のキャッチフレーズ「女だから、男だから、ではなく、私だから、の時代へ」には、性別によって「自分らしさ」の選択肢を狭められることなく、自由な発想であらゆる可能性に向かってこれからの未来を創っていくように、との思いがこめられています。

誰もが自分らしく生きられる未来のために、私たち自身の価値観をアップデート(更新)していきましょう。